

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「グループホーム白松」の理念を掲示し、従業員の理解を深めています。		入居前に主に取り組んでいた趣味、職業等をグループホームの生活の中に取り入れ、自立に向けて役立てたいです。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	同上		同上
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居者、家族に見やすい位置に「運営理念」を壁に掲げている。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	理容・美容は近隣に出向き、又はGH内に来てカットをしてくれています。本読みのボランティアさんも来訪されています。水まき、花の手入れ等で合った時は、挨拶を交わしています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幼稚園、小学生との交流会に参加したり、運動会、盆踊り、その他の祭事に積極的に参加しています。毎年1回、大納涼祭を(本館)開催しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近くの小学校におけるイベントに参加し小学生の心を豊かにすることに役立させている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者評価を3度受け、その度の評価を参考にし「グループホーム白松」の改善に取り組んでいます。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	働きかけを行っていますが、思うようには進まない現状です。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	”		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			すでに成年後見制度を行っている居住者もいます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加し、資料、研修報告を全員が目を通す様になっています。施設内研修において知識の向上をはかっています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約者、重要事項説明書等で、十分説明をしています。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部評価の結果をコピーし、居住者に郵送し、報告をしています。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月新聞を発行しています。一か月分のバイタルチェックの記録を添付し、その月に受診した内容、結果の記録を家族に送っています。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置してありますが今のところ1件もないです。年1回家族会を開いています。意見交換会を3ヶ月に一度、又は状況変化については随時行っています。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全員のカンファレンスは年4～5回ですが、小グループでのカンファレンスは随時行い、職員の意見をすいあげ、プランに入れたりしています。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化時にはホーム近隣からの職員が多い為、すぐに対応ができます。又、本館職員がいつでも対応できる状態にしています。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本館との職員研修や催し物等は、合同で行っている為、全職員と接する機会が多く、顔なじみが多いです。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	千葉県社会福祉研修センターからの研修には、職員が交代で受講しています。又、本館で行われる勉強会には、全員が出席しています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との情報交換、施設見学等が乏しいです。		研修時には他施設運営内容等の情報交換等していますが、実際に施設訪問までには達していませんが、他の方の見学来の方はあります。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者はストレスマネジメントやカウンセリングの研修に参加し、職員に対し、話し易いよう、少人数で仕事の合間を見て一緒にお茶をとったり世間話をしたりしています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修等に参加し、職員の育成に努力しています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の居室に伺い、職員とゆっくりと時間をかけて本人の希望を聞くようにしています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学時に話を聞く時間を多く取っています。解説4年目に入り、ご家族との信頼関係は大変良好と感じています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学時に相談された事柄については、積極的に対応しています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に体験滞在をする取り組みを行っています。ヒアリング等を実施している中で職員と意見交換をし、その都度決定することとしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と共に家庭菜園を行ったりしています。又ホーム内の家事仕事は、一緒におこなっています。労をねぎらい感謝の言葉を忘れない様になっています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とは、何でも相談して行く関係が出来ていてとても良い関係にあります。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	月に一度位の割合ではありますが、外泊(帰宅)し家族との関係を支援しています。夕 週1回の割合で息子さんと外食を楽しんでいる方もいます。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遊歩道に神社が奉られているので、良く散歩をしながら お参りをしています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	何事にも リビングに集まり、野菜作りや洗濯物たたみ、手作業等を一緒に行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去(死亡)されてしまった 御家族からも野菜の差し入れがあります。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	時々、居室に伺い ゆっくりとした時間を持ち、一人ひとりの話を聞く時間を作っている。個別的な支援もしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・思い出の写真を壁に飾ったりしています。・居室に持ち込んだ仏壇に手を合わせたりしています。・その方の生活歴を把握し、その方に合った仕事等を提供しています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・出来る事、出来ない事を見極め、その方に合った生活リズムを大事にしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3~6月に一度位で、家族 意見交換を行っています。又 必要に応じて連絡をし、家族との関係は良好です。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況に応じ随時 話し合いの場を持っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別ファイルを作り、毎日の行動、変化を記入している。又 申し送りノートにて情報を確認しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の趣味とホームでの生活の中でも出来る様にしています。(例)ゴルフ練習場の設置、ゲートボールの参加等。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事ごとには接待をし、馴染みの関係にあります。勉強会を開き 指導をして頂く機会を作っています。		警察、消防署等への四季折々の挨拶を行い、日頃の協力を依頼しています。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	「グループホーム白松」への入居時に、入居前にお世話になったケアマネジャー(プランについて)と打合せをしながら本人に合ったケアプランを企っています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	働きかけを行なっていますが、思う様には進まない現状です。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約病院(八街総合病院)があり、毎週水曜日に嘱託医を指名して診察をして頂いています。又 毎週月・金に訪問歯科の診療も受ける事が出来ます。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>契約病院(八街総合病院)の嘱託医が入居当時から診てくれている為とても相談がしやすいです。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>本館(白松の郷)のナースが毎日一回は顔を出し、入居者の健康状態を把握しています。 ナースとの連絡は密です。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>契約病院(八街総合病院)があり、看護助手(2人配置)が毎日病院に同行し 医師などと打合せを行い 早期退院を支援しています。 時には管理者が出向き担当ナースステーションにて説明を聞いています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居当時から3年半が過ち、個々にレベルダウンになってきている為、来訪された時に家族と話し合いの時間を取り、今後について話し合う事が多くなりました。 職員とも随時 話し合う時間を持つ様に心がけています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ターミナルケアまでは、今のホームでは出来ないのが今現在保たれている状況の中での支援については、一貫性を持ち介護をしています。状況変化に応じ提携している。特養も考えています。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えではありませんが、毎月家へ泊りに帰る方が楽しく過ごされた事を話して下さいます。又 送られて来た時に御家族から様子を聞いたりしています。グループホームの方が「イイヨ」などと ダメージは、ないです。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々の生活歴を職員全員が把握し居住者一人ひとりの状態に応じたケアをしています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者の希望を出来る限り優先しています。(趣味・買い物・散歩等)</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>居室にて昼寝をしたり、本を読んだり、手紙を書いたりと自分のペースが出来上がってきています。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>地域住民との関わりを大事にし、ホーム隣の理容室に出掛けて行く、美容は歩行が不安定な方が多い為 隣の美容室が来訪しホーム内でカットをして頂いています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ホーム内の菜園でとれた野菜の根を取ったり、洗ったりし、メニューを考えたりしています。片付けも職員が洗い、居住者がゆすいでくれたり共に行っています。</p>	<p>食事は居住者、職員が一緒のテーブルに付き、3食を共にしています。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一人を除く全員が酒・タバコを好まないです。おやつは昔懐かしいお菓子等を用意し、当時を思い出し、思い出話に花が咲く時もあります。</p>	<p>お酒の好きな方については、ご家族が一週間に一回、外食に誘い出し、親子でビールを飲んで楽しんでいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ADLの低下に伴い、排尿感覚の無い方に対しては、さりげなく声掛けをし、トイレ誘導を行っています。		排便、排尿チェック表を作成し、時間の間隔を把握しています。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日おきの入浴と決まっていますが、変更は自由になっています。できる方については、一人で入浴をして頂いて(見守り)いますが、できない方については、職員の介助のもと本人に合わせて入浴をしています。		入浴前には、全員のバイタルチェックを行ない、健康状態を把握し、状態に応じナースと相談し入浴を中止するときもあります。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠れない原因を職員全員で観察し、対応を考えています。眠剤を必要としていた2人の居住者も内服せず、毎晩眠りについています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居住者一人ひとりの残存能力を見極め、その人に合った役割を見出し対応しています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物は自由に出かけることができますが(職員同行)金銭管理については、一括事務所で行なっています。		家族了解です。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、ゲートボール、ゴルフの素振りと自由に戸外に出かけています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月一回ドライブの計画を立て、買い物ツアーや神社へのお参り、成田空港飛行機発着を見に行ったり、回転寿司を食べに行ったりしています。		本館ドライブの誘いにも出かけて行っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から宅配が届いたときには必ず本人が電話をし、届いたことを送り先へ報告しています。年賀状、暑中見舞いハガキを用意しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	GH一階の応接間を開放し、自由に訪問が出来るようになっています。(お茶、食事等持ち込みで)		ご家族、ご兄弟の大勢の来訪は応接間で、居住者の方と楽しいひと時を過ごして頂いています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を受講しています。現在の入居者には身体拘束の必要な方はいません。施設内研修にも議題として職員の知識向上をはかっています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自動ドア付近では、危険防止の為、チャイムが鳴るようになっています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日常において見守りやすい居間において入居者の把握を的確にしています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	手作業等に使用する際は、職員と共に一緒に作業をしています。危険防止の為、収納庫にて保管をしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日常において常に目配り、気働きを忘れないように指導をしています。定期的に火災予防訓練に参加しています。		ナース指導のもと、吸引の勉強会を行なっています。毎月19日には火災訓練勉強会に参加、消防署の指導のもとに行なっています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師の指導のもと吸引の勉強会を行なうとともに、マニュアルを作成しています。緊急時には、看護師への緊急連絡網を確立しております。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月19日を「消防の日」と決め、職員、居住者と共に消防署、佐倉防災等の勉強会に参加し、又、器具、消火器の使い方の訓練を受けている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事あるごとにご家族とは電話、その他で連絡を取り、話し合いの場を持ち、対応をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝9時にバイタルチェックを行なう。又、入浴日の午後13時30分に再度バイタルチェックを行なっています。変化状態の方については、申し送りノートや口頭で周知しています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師指導のもと、適切に服薬管理をしています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表の記録を確認し、又、ナース指導のもと、取り組んでいます。ホーム内での食事作りにも工夫し、野菜類を多く取れるように調理をしています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え、野菜中心の食事内容にしています。水分摂取量は個別に記録しています。(お茶、コーヒー、牛乳、ココア、ミロ、紅茶、ゼリー等の対応)		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	家族の同意を得て、インフルエンザの予防接種を行なっています。また手洗いや消毒を常に行なっています。		感染症予防対策研修会等に参加しています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	「手洗い消毒器」を設置、手洗いの励行をしています。食器については、全部乾燥機を使用し、「ふきん」では拭くことはありません。新しい食材を使用したい為、買いだめはしていません。		食器乾燥機を使用しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、季節に応じて鉢物等を置いています。GH入口自動ドア上には、職員手作りの表札を飾ってあります。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住者全員で作り上げた「9人の居住者」の作品を展示したり、壁には季節ごとの作品を全員で作る。又、居住者の居室の入口にも四季折々の手作りの花を飾り、季節を感じていただいています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	「小ちゃな部屋」を設置、自由に利用できるようにしています。又、廊下に長いソファを設置し、いつでも利用できるようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた物や馴染みの物を居室に持ち込んでいます。又、壁には家族の写真等も飾っています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房、換気等については、業者に依頼し、清掃等を欠かさず行なっています。温度調節はこまめに確認しています(事務所内でも一括管理が可能です)。		温度計を設置してあります。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「手すり」(廊下・浴室)の設置、「便座」には高い便座・低い便座を設置してあります。(温便座の設置済みです)		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その方に合った仕事を提供し、お手伝いをして頂いています。又、自室がすぐにわかる様に表札をかけてあります。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭(芝生)に屋根つきベンチを設置、農園では季節の野菜を植えたり、収穫を楽しんでいます。又、芝生ではゴルフの打ちっぱなしをしたり、ゲートボールもしています。		良い天気の日には、芝生の上で、昼食をとったり、シートを敷いて洗濯物をたたんだりと使用し、楽しんでいます。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

GHの農園を作り（時々居住者と一緒に作業をしています）、自給自足の生活を居住者と共に楽しんでいきます。毎月一回、GH独自の新聞（グループホーム白松）を発行、その月に行われた行事内容を職員のコメント及び居住者の日常生活の写真等を掲載し、各家庭に送付しています。又、毎朝と入浴時のバイタルチェック及びその月に受診した内容、結果を新聞と同封し、報告をしています（ご家族には安心を感じていただいているようです）。